



全員参加の医療DXをめざす

—Team MediX がつくる意識の変革—

津久見市医師会立 津久見中央病院

経営企画部 宇都宮 朋宏

本日の内容

01 津久見市・当院の紹介

02 Team MediXの立ち上げ

03 MediXキックオフ!

04 今後の予定



本日の内容

01 津久見市・当院の紹介

02 Team MediXの立ち上げ

03 MediXキックオフ!

04 今後の予定



大分県 津久見市

- ・人口 約1万4千人
 - ・高齢化率 約 **47**%
 - ・開業医の約8割が60歳以上
-
- ・過疎化、少子高齢化が進んでいる地域
 - ・津久見市内で**唯一の有床病院**



津久見中央病院の紹介

- ・ 医師会立病院
- ・ 2次救急指定病院（輪番制）
- ・ へき地拠点病院
- ・ 病床数 120床（急性期 地域包括ケア 特殊疾患）
- ・ 入院患者平均年齢 約80歳 ※70歳以上 80%
- ・ 職員数 233名
（平均年齢 44歳 **平均勤続年数 12年**）



組織改革の経験が少ない…



- ・ 電子カルテ 2017年 (HOPE Cloud Chart II)
 - ・ 医事会計システム (HOPEクラウド)
 - ・ 勤怠管理システム (奉行クラウド)
 - ・ インシデント管理システム (セーフマスター)
 - ・ 看護部就業管理システム (CWS)
 - ・ 情報共有ツール (Medical Care Station)
 - ・ 電子処方箋 2025年～

 - ・ 施設基準管理システム (Imedy)
 - ・ 医療機器データ通信サポートシステム (HNライン)
- ※赤文字は導入予定



2024年病院目標に「医療DXの必要性」「ペーパーレス」を銘打つ

・なかなか進まない状況…

病院としての戦略

2025年4月に医療情報課 経営戦略課

“経営企画部”

院長、看護部長、事務長、医事係長
医療情報担当、経営戦略担当

2025年5月に

**大分県医療DXモデル病院
創出支援事業**



病院としての取り組み

2025年5月 大分県医療DXモデル病院創出支援事業



2025年6月 事業応募完了！



2025年8月 モデル病院 決定



2025年9月 アドバイザー派遣
医療政策課 政策医療班＋
大分県医療勤務環境改善支援センターの医業経営アドバイザー

津久見中央病院

山香病院

竹田医師会病院



医療DX アドバイザー派遣

コアメンバー 経営企画部

- ・ 医療DX = 改革 （進め方の確認）
- ・ ボトムアップすることの大切さ
- ・ スモールスタートの必要性
- ・ 医療DX目的 = 患者の利益



医療DXのチームを作る

本日の内容

01 津久見市・当院の紹介

02 Team MediXの立ち上げ

03 MediXキックオフ!

04 今後の予定



Team MediXの立ち上げ

コアメンバー 経営企画部（6名）

MediX メンバー

医師、看護師（病棟、外来、透析）
放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、
診療情報管理士、理学療法士、作業療法士、
社会福祉士、医師事務作業補助者

各部署から19名が集まる

現場の実践者の参画

- ・ 経験3年以上
- ・ 部署長以外で構成
- ・ あくまで立候補で！

総勢25名が「Team MediX」として活動

本日の内容

01 津久見市・当院の紹介

02 Team MediXの立ち上げ

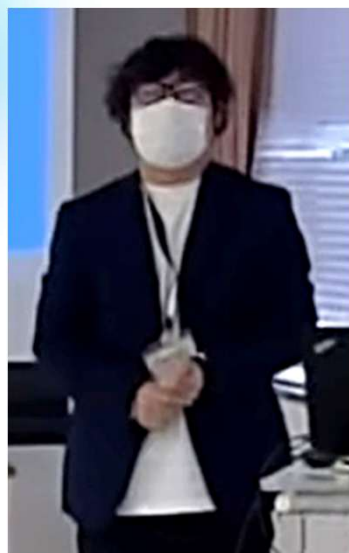
03 MediXキックオフ!

04 今後の予定



MediX キックオフ会議 (11/12)

- ・ 医療DXに対する敷居を下げる
- ・ 医療DXとは何かを共有
- ・ 課題抽出方法のグループワーク
- ・ MediXメンバーの役割確認



- ・ イメージキャラクターを決定
- ・ 共通言語の設定
 - 「ボトムアップ」
 - 「患者のため」
 - 「スモールスタート」
- ・ MediXと現場を繋ぐ「橋渡し役」



医療DX 現場の課題

B I U ↺ ↻

現場で見つけた「非効率」「紙作業」「デジタル化できそうな課題」を
困りごと欄は1件ずつ入力をお願いします!! どんどんアゲてこ

氏名 *

各部署、もしくは各職種の代表が記入してください。

短文回答

困りごと 1 *

「PHSにかけるタイミングが難しい」「患者さんから”その話さ
ことでOKです!! ガシガシ上げましょう!!!!

長文回答

困りごと 2 *

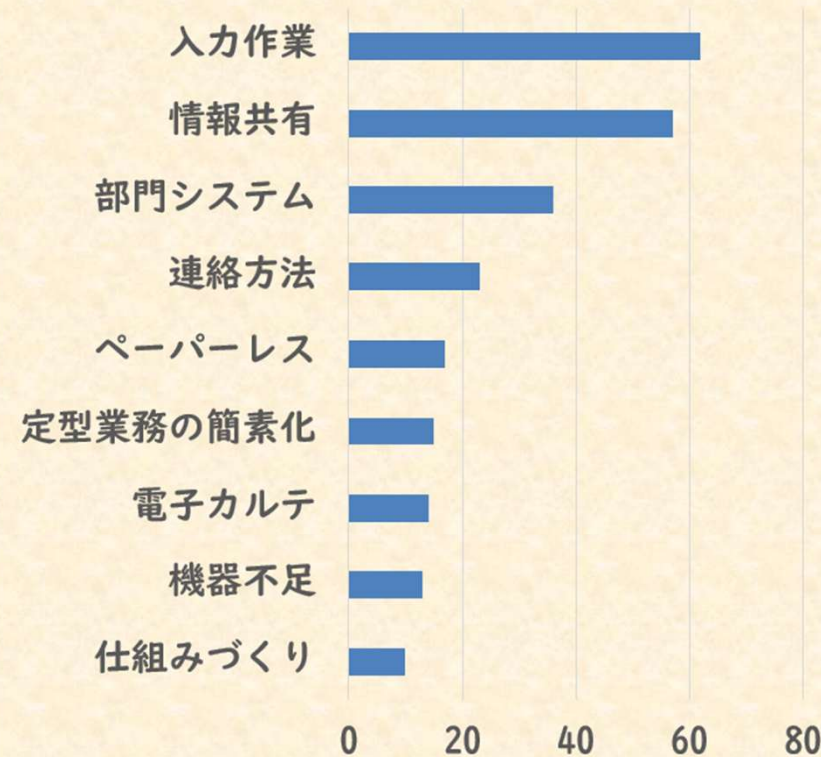
長文回答

274項目が抽出された

あったら良いツール



抽出課題



MediX 第2回会議 (1/8)

課題を共有する

“課題の共有方法をメンバーで考える”



- ・ 全274項目の課題を共有
- ・ 課題の共有方法を検討
- ・ MediXメンバーの役割を再確認
- ・ 今後の連絡体制の共有



MediXメンバーの役割

DX推進の MediX⇄現場
をつなぐ「橋渡し役」

1. 会議で出た意見を現場と共有する
2. 現場の意見をメンバーと共有する
3. モニタリングを行っていく
4. 役割モデルになる



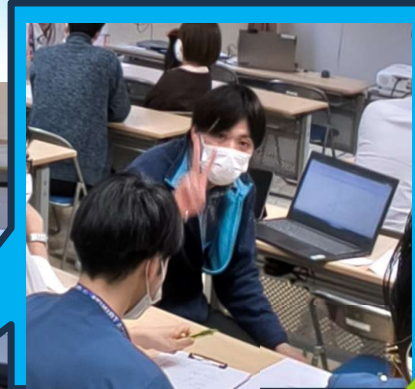
困った時の連絡体制を 明確にした

STATION



- こんな意見があがった
- こう言われて困った…。
- こう活用している！
- ここはどうなんだろう…？
- **宇都宮、一緒に来てくれ！**





心理的安全性の
高いチーム作り



嬉しい変化が...

他部署の困りごとが分かった

うちの部署が、少し手伝ったら
解決できるんじゃないか…？

274項目は現場を「良くしよう」
とする知性の結晶だと思った

現場との共有の時に、
「現場が仕事を大切にしたからこそ、274
項目も課題が出た」
と伝えてみるのはどうか？

ボトムアップで意見が出ている！
組織変革につながりそうで
ワクワクしている！



MediX 第3回会議 (2/20)

取り組む課題の決定

ワーキンググループでの活動…！

Coming Soon…



@TSUKUMI.CHUO.KANGO



本日の内容

01 津久見市・当院の紹介

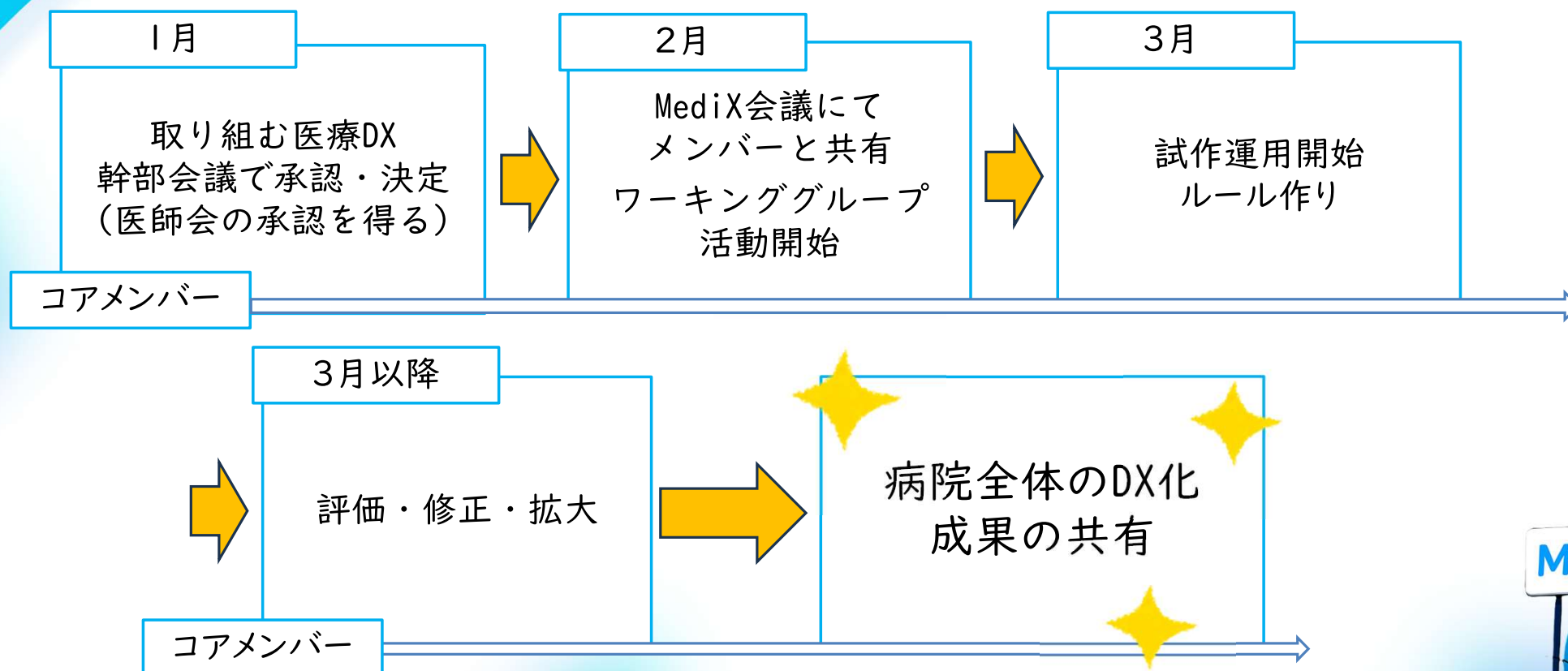
02 Team MediXの立ち上げ

03 MediXキックオフ!

04 今後の予定



今後の予定





全員参加の医療DXをめざす

—Team MediX がつくる意識の変革—

津久見市医師会立 津久見中央病院

経営企画部 宇都宮 朋宏